

大阪市環境白書の刊行にあたって



近年、地球温暖化や天然資源の枯渇など、地球規模での環境問題がますます深刻化しており、本年 12 月にデンマークのコペンハーゲンで開催される気候変動枠組条約第 15 回締約国会議（COP15）では、京都議定書に定めのない 2013 年以降の国際的な温室効果ガス削減の枠組みについて、世界各国の大臣による話し合いが行われる予定です。

大阪市においても、この 100 年間で、全国平均の 1.0℃を大きく上回る 2.1℃も気温が上昇するなど、地球温暖化やヒートアイランド現象の影響は現れており、安全で快適な都市環境を確保し、次の世代へと引き継いでいくために早急な対策が求められています。

このような背景を踏まえ、本年 3 月に策定した「元気な大阪をめざす政策推進ビジョン」では、市域の温室効果ガス排出量を平成 23 年度までに平成 2 年度の排出量から 10%削減することを目標に掲げ、今年度から太陽光発電補助制度を創設するとともに、建物の屋上・壁面緑化を促進するなど、市民や事業者の皆さんとの協働によって、地球温暖化対策やヒートアイランド対策を推進しています。

また、7 月には、年間のごみ処理量を平成 27 年度までに 110 万トンまで減量するという新たな目標を設定し、ごみの減量を通じて限りある天然資源の消費を抑制し、環境への負荷が少ない持続可能な循環型社会の形成をめざしています。

本書は、平成 20 年度における大阪市の環境の状況や施策の実施状況を取りまとめたものであり、今後さらに改善していくべき課題や今年度の重点的な取り組み内容も示しています。環境問題の解決には、日常生活における一人ひとりの心がけと、事業者の皆さんのご協力が不可欠であり、今後とも、「いっしょにやいまひょ！」を合言葉に、市民や事業者、環境 NPO・NGO の皆様と連携して、環境にやさしいまちづくりに力を尽くしてまいりますので、皆様方の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

大阪市長 平松 邦夫